



記 入 日 2012 年 1 月 9 日

1. 概 要

実践団体名	中央学童保育所		
連絡先	施設長 橋本 幸雄 059-329-6450		
プランタイトル	中央学童保育所東海地震防災対策		
プランの対象者※1	幼児・小学校低学年	対象とする 災害種別※2	地震

※1 別紙「記入上の留意点」の項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※2 別紙「記入上の留意点」の項目から1つ選択し、記入してください。

【プランの目的・ここがポイント!】

防災に関する教材は多くありますが、幼児・小学校低学年を対象にした教材はありませんでした。多くの児童を預かる保育所として考え、地域に特性にあった幼児・小学校低学年の児童にも理解できる教材として絵本を製作することにしました。絵本に関し、ただ配るのではなく「親子で考えてる」を考え、親子参加の勉強会や実際に避難経路を児童主体で非難する訓練を行い子供たちの防災意識の発達と防災技能の向上を目的としています。

【プランの概要】

災害時に役立つ、地域の児童（幼児・小学校低学年）にも理解できる絵本の製作を行う。
 製作には、保護者・地域住民・行政が一体となり製作を行う。
 製作した絵本を使い親子で防災を考え、防災意識及び技能を高める。
 知識だけではなく、絵本を使い避難訓練を行い実際に体験する。
 実際に避難経路を確認したり、地域の住民に聞くことで安全経路を確認及び変更する。

【期待される効果・ここがおすすめ!】

子供達の自主性のある防災意識及び能力の向上。
 保護者・地域住民・行政が一体となった児童に対する防災意識の向上。
 地域の子供たちにあった教材の開発。
 保育所職員の防災意識の向上。

2. プランの年間活動記録 (2012 年)

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
4月	実行委員の選出及び各担当の依頼	第一回実行委員会の開催	各担当による調査・情報の収集等
5月	行政・保護者会・自治会への協力依頼	第二回実行委員会の開催	調査・収集した情報への審議及び構成の確認
6月	絵本原画の完成	編集社・印刷会社に絵本原画を提出	製作のプロによる最終構成・確認
7月	絵本製作の発注・勉強会の開催審議	第三回実行委員会の開催	勉強会に関する依頼及び周知目的のチラシの配布等・製作絵本の完成
8月	後期避難訓練に関する意見交換会	第一回総会・第四回実行委員会	夏季親子防災教育勉強会の開催・その後に総会の開催
9月	後期避難訓練開催の審議・確定	第五回実行委員会の開催	各担当による関係各所への依頼及びチラシ等の配布
10月	中間報告会の資料等のまとめ	担当者からの事務局との連絡等	中間報告会に参加・報告
11月	冬季避難訓練の開催と意見交換会	地域住民や保護者会等との調整等	冬季避難訓練の開催・その後に意見交換会
12月	絵本の増刷と宣伝の依頼	四日市市役所・NPO法人関係者と交渉	四日市市役所・NPO法人が、次年度の予算として了承
1月	最終報告会資料の審議	第6回実行委員会の開催	最終報告会資料の作成・提出
2月	最終報告会の参加	報告者等の選出	最終報告会報告 (予定)
3月	次年度実行委員の審議	第7回実行委員会の開催	次年度、実行委員の確定

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム番号： 2】※3

タイトル	夏季・親子で考える防災勉強会（製作絵本）
実施月日（曜日）	8月22日（水曜日）
実施場所	中央学童保育所プレイルーム
担当者または講師	担当者・講師等の区分：講師 氏名：石川 圭美 所属・役職等：四日市市 危機管理室 副参事・危機管理室長補佐
所要時間または「コマ数×単位時間」	「2コマ×45分」
プログラムのカテゴリ、形式※4	講習会・学習会・ワークショップ
活動目的※5	防災に関する知識を深める
達成目標	児童・保護者等20名以上の参加
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	1. 参加した児童・保護者・職員に絵本の配布 2. 1コマ目の時間は、製作絵本を使い読み聞かせ・質疑応答 3. 2コマ目の時間は、絵本内のクイズ等の宿題説明と避難訓練の説明・質疑応答
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	製作絵本・講師1名・駐車場警備員1名・スタッフ4名 ・勉強会チラシ等
参加人数	22名
経費の総額・内訳概要	¥4000円（コピー代¥1000円・駐車場警備員¥3000円）
成果と課題	【成果】 参加者の防災知識及び意識が、飛躍的に向上した。 製作絵本に、非常に良い宣伝となった。 【課題】 勉強会だけでは、避難技能に対し不安が残った。
成果物	参加者の防災知識と意識の向上・製作絵本の宣伝

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 3】※3

タイトル	冬季・僕たちだけの避難訓練（製作絵本）
実施月日（曜日）	11月24日（土曜日）
実施場所	四日市市中央小学校区内
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏名：宇佐美 裕命 所属・役職等：中央学童保育所運営委員会 委員長
所要時間または「コマ数×単位時間」	所要時間 1時間 30分
プログラムのカテゴリ、形式※4	避難・防災訓練
活動目的※5	災害対応能力の育成
達成目標	時間内に避難場所へ到達する（途中、危険箇所を1つ以上見つける）
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	1. 出発地点は、中央学童保育所とし、目標地点は中央小学校の隣にある四谷公園とする。 2. 5～6人の児童でグループを作り、1グループに1人以上の指導員が付く。 3. 指導員は避難に関する指示等おこなわず、児童の判断だけで訓練を行う。
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	スタッフ4名・臨時スタッフ8名・避難訓練プリント・製作絵本等
参加人数	児童20名 スタッフ12名
経費の総額・内訳概要	¥25000円（コピー代¥1000円・臨時スタッフ交通費¥24000円）
成果と課題	【成果】 避難に関する技能が、飛躍的に向上した。 避難経路にある危険要因を発見した。 【課題】 グループにしたため、訓練より遊び重視になってしまった。
成果物	避難に関する技能向上と避難経路の危険箇所の発見

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ____1】※3

タイトル	幼児・小学低学年向け防災絵本の製作
実施月日（曜日）	7月31日（火曜日）
実施場所	株式会社 タウン誌YOU
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：向井 靖博 所属・役職等：株式会社 タウン誌YOU 編集長
所要時間または「コマ数×単位時間」	完成までの期間 3ヶ月
プログラムのカテゴリ、形式※4	その他
活動目的※5	防災に役立つ資料・材料作り
達成目標	500部
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	1. 製作絵本に関する情報収集 2. 専門家への協力依頼 3. 製作の出版社へ依頼
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	実行委員 7名・製作絵本・会議室述べ 4回
参加人数	7名
経費の総額・内訳概要	¥138946円（製作絵本¥130946円・会議室 4回¥8000円）
成果と課題	【成果】 幼児・低学年向けの防災絵本の完成 行政と地域住民が絵本によって協力できた 【課題】 資金が上手く回らず、経費削減を余儀なくなった
成果物	幼児・低学年向け防災絵本

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の項目から1つ選択し、記入してください。

4. 苦勞した点・工夫した点

<p>プランの立案 と調整で 苦勞した点 工夫した点</p>	<p>苦勞した点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当初は、絵本の製作に関し、周知されておらず行政や地域住民との連携に手間取った。 2. 製作絵本の情報収集時、幼児・低学年向けの参考となる資料がまったく無く非常に困った。 <p>工夫した点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実行委員の専門分野で担当を決めることで、行政には行政関係の担当、地域住民には地域の担当という配置をすることで円滑にすることが出来た。
<p>準備活動で 苦勞した点 工夫した点</p>	<p>苦勞した点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資金が円滑の出来ず、必要なときに資金が不足したりした。 <p>工夫した点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当初予定していた講師を行政に依頼、臨時スタッフ等をボランティア団体に依頼したり等行い、経費の削減に努めた。
<p>実践に 当たって 苦勞した点 工夫した点</p>	<p>苦勞した点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子供たちの「知ってる」つもりの意識を変えること 「知ってる」から「できる」わけでないということを教える事。 <p>工夫した点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに試作をあげたときに、A4で作ったら、子供の手には大きいと いうことで、大きさに注意した 2. 書き込み式にすることによって、自分たちで意識して考えるようにした。

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	四日市市教育委員会 中央学童保育所	情報の提供 絵本の構成 絵本の配布
保護者・ PTAの組織	中央学童保育所保護者会	避難訓練の現地 勉強会の協力 避難訓練の協力
地域組織	中央地区連合自治会 中央学童保育所運営委員会 中央地区商店街 港地区自治会	情報の提供 避難訓練の協力
国・地方公共団体・ 公共施設	四日市市危機管理室 四日市市広報	講演会の開催・指導 広報の援助
企業・ 産業関連の組合等	(株) 現代プラントサービス (株) タウン情報誌 YOU	資金援助 絵本の作成
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	NPO 法人 Hiro System	企画・現地 広報の援助 資金の援助
職業、職能団体・ 学術組織、学会等	四日市市優良社交飲食事業組合	資金援助

6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p>成果として 得たこと</p>	<p>成果</p> <p>日常の子供たちの会話の中で防災を意識した話が出てくるようになったこと。 子供たちの疑問に大人が答えられず、保護者や職員にとっても、改めて防災について考えるきっかけがくれたこと。</p> <p>地域自治会との防災交流が出来た。</p> <p>行政と民間が一体となり防災について交流出来た。</p>
<p>全体の反省・ 感想・課題</p>	<p>全体の反省・感想</p> <p>まずは、行動すること。 そう考え早い段階で絵本の作成を行いました。 行ったことにより、行政や地域の方々の協力が得られるようになり、他の団体の活動も知ることができました。 その中で、得た事も踏まえ、もう少し中身を練ってからでも遅くはなかったのかなと思いました。</p> <p>次は、もう少し地域に密着した内容にしていきたいと思っています。</p>
<p>今後の 継続予定</p>	<p>絵本の製作 絵本の配布 防災勉強会 防災訓練</p>

7. 自由記述欄 ※6

※6 自由記述欄は、防災教育の実践で得られた知見、防災教育の普及に関わる提案等を盛り込んでください。また、前頁までの記述に不足した事項、参考資料、写真等を自由にご記入ください。なお、3ページ以内厳守をお願いします。

操作不慣れの為、別途写真を郵送いたしますので、貼り付けをお願いいたします。

1. 中央が駆動保育所
2. 絵本完成
3. 夏季 防災勉強会
4. 冬季 避難訓練

(自由記述: 1/3)

A large empty rectangular box with a blue border, intended for free text entry.

(自由記述: 2/3)

A large empty rectangular box with a blue border, intended for free text entry.

(自由記述: 3/3)